

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 23 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		発熱外来運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせる街づくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎	
	施策	1	危機管理・防災対策の推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 八木 美保	
	基本事業	2	災害時応急対策	所属班	健康推進班	(内線) 2166	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	
	1	4	1	1	11429	感染症法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			
						成果優先度評価結果	—
						コスト削減優先度評価結果	—

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・重症化率の高い鳥由来などの新型インフルエンザが発生し、市内にまん延した場合に開設する合志市立診療所(発熱外来)業務 ・新型インフルエンザの疑いがある発熱症状のある者のみを診察し、トリアージや抗ウイルス剤などの投薬を行う。 ・今年度流行した豚由来の新型インフルエンザでは、発熱外来を開設することはなかったが、今後、高病原性ウイルスの新型インフルエンザの発生やインフルエンザウイルスが変異したときの大流行時の対応が危惧される。
【業務の流れ】	発生前は、医師・看護師との診療に係る契約、備品の購入業務、発熱外来開設準備業務 発生後は、合志市立診療所として発熱外来を運営する。医療スタッフの確保、薬剤の購入、診療、処方、診療報酬請求、職員の確保などが必要となる。原則8週間開設し、診療時間は午前9時から午後9時までの12時間、ただし週間に1回は24時間体制の時間外診療が輪番してくる。
【主な予算費目】	報酬、時間外手当、特殊勤務手当、需用費：一般消耗品費・医薬材料費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	平成21年第1、2回定例議会において新インフルエンザに対して一般質問があった。 一般市民からは、今年度流行した新型インフルに対しての市の対応や体制についての問い合わせがあった。 医師会からは、身分保障について・看護師の確保について・発熱外来設置の意義についての質問があった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	重症化率の高い新型インフルエンザが発生した場合、菊池保健所管内市町村で発熱外来を開設する。内容は21年度の事業内容と同じ。	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	医薬材料等必要物品の備蓄 発熱外来運営マニュアルおよび新型インフルエンザ対策行動計画の作成 防災訓練に併せた健康危機管理訓練の実施	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
	⇒ ア 医薬材料費の備蓄品目数	イ 開設診療所設置数	ヶ所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	罹患者が診察を受けて重症度に応じた治療を受けることができる。	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標	(単位)
		⇒ ア 推計される罹患患者数	人
		⇒ イ 死亡者数	人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠		新型インフルエンザは免疫を持った者がいないため、大流行・重症化の恐れが大きい。そこで患者数や死亡者数をスペインインフルエンザと同程度と推測し、発熱外来を設置することにより、274人と推計している死亡者数を極力減らすことを成果指標とする。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 種類				10	0	10	10	
	イ ケ所				1	0	1	1	
⑤ 対象指標	ア 人				13,500	10,971	13,500	13,500	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人				0	0	0	0	
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			88,399	0	88,399	88,399
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	88,399	0	88,399	88,399	0
(A)のうち指定経費	千円			11,357		11,357	11,357		
(A)のうち時間外、特勤	千円			12,466		12,466	12,466		
人件費	正規職員従事人数	人			80	2	80	80	
	延べ業務時間	時間			5,120	80	5,120	5,120	
	(B)人件費計	千円	0	0	20,378	318	20,378	20,378	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	108,777	318	108,777	108,777	0

総トータルコスト	全体計画
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	発熱外来運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

類似事業はなく、市民の生命安全保障するための有事の際の事業であるため事業費および人件費の削減を考慮する余地がほとんどない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 発熱外来に従事する市職員の確保を時間外にすると、予算の増大や労働時間超過による健康面での弊害が考えられるため、勤務の振替を検討したほうが良いのではないかと。																						